



申込期日 : 2025/9/21 (日) 23:59

認知症の治療 – アルツハイマー病に対する最新治療も含めて – / デジタル技術を用いた治療 (DTx) と薬剤師

■ 2025/10/05 (日) 9:50-12:50

■ 2,600円

- 各情報は**折りたたみ形式**となっています。
「▶」をクリックして展開

 **会場開催**

10/5(日) 9:50 – 12:50

認知症・アルツハイマー治療・
デジタル技術を用いた治療(DTx)

▼ 前半講演

認知症の治療 – アルツハイマー病に対する最新治療も含めて –

本講座ではアルツハイマー病 (AD) の治療について近年のトピックを含めて紹介する。認知機能障害に対してはこれまでコリンエステラーゼ阻害薬とメマンチンが用いられてきた。新たにAD脳内に蓄積されるアミロイドβ蛋白質 (Aβ) を除去することによりADの進行を抑制する抗Aβ抗体レカネマブとドナネマブが登場した。この2剤の特徴について紹介する。また、BPSDに対してはこれまで漢方薬や抗精神病薬が適応外使用されてきたが、2024年に抗精神病薬ブレクスピプラゾールが“A Dに伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する過活動又は攻撃的言動”に対する治療薬として初めて承認された。AD治療に際しては安全性への配慮が最も重要である。注意点についても述べたい。

【学習到達目標】

- (1) 抗Aβ抗体の投与対象となる患者について説明できる。
- (2) 抗Aβ抗体の有害事象について修得する。
- (3) BPSDの薬物療法の前に行うべきことについて説明できる。
- (4) BPSDの薬物療法について理解する。

▼ 水上 勝義先生 略歴

水上 勝義(筑波大学 体育系 教授)

＜略歴＞

1984年 筑波大学医学専門学群卒業
1990年 筑波大学臨床医学系精神医学講師
2002年 同助教授
2007年 同准教授
2012年 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授

＜認定資格＞

精神保健指定医
日本老年精神医学会専門医
日本認知症学会専門医

＜所属学会・委員等＞

日本認知症学会理事
日本老年薬学会副代表理事
日本老年精神医学会評議員

▼ 後半講演

デジタル技術を用いた治療（DTx）と薬剤師

デジタル技術を用いた治療（DTx : Digital Therapeutics）が進みつつある。現在、我が国においてはプログラム医療機器実用化促進パッケージ戦略が第2段階として動き始めており、その中では医療現場向きのプログラム医療機器（SaMD : Software as a Medical Device）から一般消費者を対象とした家庭用SaMDへ転用する考え方も盛り込まれている。本講演をさせていただく頃には5つの医療現場向きSaMDが承認されているだろう。これらのアプリは治療に供する新たな手段であり、既存の薬物療法との併用による効果も期待される。つまり薬剤師にとっても薬剤に関する知識を持つのと同じように、治療用アプリに関する知識を併せ持つ必要がある。新たな分野への取り組みに理解を深める機会となれば幸いに思う。

【学習到達目標】

薬剤師がDTxに用いるプログラム医療機器に対する関心を持ち、その現状と対応に向けた知識を修得する。

[申込に進む](#)

▼ 渡邊 大記先生 略歴

渡邊 大記(日本薬剤師会 副会長)

<略歴>

1992年4月 国立大阪病院（現：大阪医療センター）薬剤科勤務

1996年4月 ダイガク薬局 勤務 ～現在

2003年4月 京都府薬剤師会 理事

2005年4月 京都府薬剤師会 副会長 ～現在

2014年6月 日本薬剤師会 理事

2016年6月 日本薬剤師会 常務理事

2022年6月 日本薬剤師会 副会長 ～現在

<所属学会・委員等>

（厚生労働省）

社会保障審議会医療保険部会 委員

薬事審議会 医療機器・体外診断薬部会 プログラム医療機器調査会 委員

次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業 家庭用プログラム医療機器審査ワーキンググループ 委員
他

[申込に進む](#)

▼ 単位・備考

2単位（G04 慶應義塾大学薬学部）

- [公開講座の種類] C(Clinical)：研修講座 … 主として薬学の貢献する分野についての講座

[申込ページに進む](#)